

公認スクーバ・ダイビング コーチ1

スクーバ・ダイビング指導者の資質向上のために、主として地域においてスクーバ・ダイビングの実践的指導に当たっている指導者、ならびにこれから指導者になろうとするものを対象に、必要な知識と技能の習得を目的に実施するものです。

2022年4月1日現在

主催		公益財団法人日本スポーツ協会 一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会	
養成目的		スクーバ・ダイビング指導者の資質と指導力の向上のために、主として地域においてスクーバ・ダイビングの実践的指導に当たっている指導者ならびにこれから指導者になろうとする者を対象に、社会的信頼を確保する上で必要な知識と技能の習得を目的に養成する。	
役割		地域のスポーツクラブや講習会等において、対象に合わせたスクーバ・ダイビングの基礎的、導入的指導等にあたる。	
養成講習会に係る内容	受講条件	受講年度の4月1日現在20歳以上の者。地域においてスクーバ・ダイビングの実践的指導に当たっている指導者及びこれから指導者になる者で育成委員会が認めた者。	
	受講科目	共通科目	共通科目 I (45h)
		専門科目	専門科目 (85h) ※別紙カリキュラム表参照
	受講料	共通科目	共通科目 I : 22,000円(税込)※別途リファレンスブック代: 3,300円(税込)
		専門科目	受講料: 15,400円(税込)※実施団体が別途定める場合がある
		スタート コーチ	実施なし
	実施方法	共通科目	別に定める共通科目実施要領に基づき日本スポーツ協会が実施する
		専門科目	<p>■講習会 カリキュラム(85h)に基づき、(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会が認定する指導者認定機関(別添)が行う集合講習と通信講座により開催する。 別途、実技検定を1日開催する。</p> <p>■検定試験 試験は、講習会時に実施することとし、(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会のスクーバ・ダイビング指導者育成委員会が合否を判定の上、結果を講習会終了後、3ヶ月以内に受験者に通知する。 「スクーバ・ダイビングの特性と基礎理論(Ⅰ)(Ⅱ)」は筆記試験により実施、他の科目については技能テストにより実施する。 筆記試験は、各科目担当講師が出題する。 技能テストは、(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会のスクーバ・ダイビング指導者育成委員会が出題する。</p> <p>■審査 合格者の判定は試験結果を(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会のスクーバ・ダイビング指導者育成委員会で審査の上、各科目ごとに60点以上(100点満点)を合格とする。(技能テストによるものは、70点以上を合格とする。)</p> <p>■免除要件 受講を開始する年の4月1日現在、満20歳以上の者で、下記の専門科目免除認定機関の指導者資格を有し、もしくは当該年度にITC(インストラクター・トレーニング・コース)を受講予定であり、スクーバ・ダイビング指導者育成委員会が認めた者。</p> <p>【専門科目免除認定機関】ADS、BSAC、Ci、CMAS=JEFF、DACS、JCS、JUDF、MTES、NAUI、PADI、SNSI、STAR。</p>
	登録に係る内容	登録料 (4年間)	基本登録料: 10,000円
			資格別登録料: 10,000円
初期登録手数料(初回登録時のみ): 3,000円			
更新登録要件	資格登録有効期限4年間です。資格有効期間中の活動実績を提出するとともに、(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会の実施する更新研修会を、有効期限が切れる6ヶ月前までに1回以上受けなければならない。		
特記事項			

公認スクーバ・ダイビング コーチ1

2022年4月1日現在

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
① 我が国の海洋関連の 知識	①	海洋に関する知識	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	②	海洋気象の知識	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	③	自然保護	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	④	水産関係の法規に関する知識	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	⑤	海事関連の法規に関する知識	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	⑥	海洋関連の法規に関する知識	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	⑦	海洋性スポーツについて	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	小計			7.00 h	7.00 h
② ダイビングに関する 知識	①	ダイビング適性と安全	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	②	ダイビングの器材	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	③	潜水生理・潜水医学 I	4.00 h	1.00 h	5.00 h
	④	潜水物理 I	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	⑤	減圧理論・ダイブコンピュータ I	0.00 h	1.00 h	1.00 h
	⑥	潜水障害・減圧障害 I	2.00 h	1.00 h	3.00 h
	⑦	潜水環境	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	⑧	潜水計画 I	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	⑨	緊急対処計画	2.00 h	1.00 h	3.00 h
	小計			14.00 h	5.00 h
③ ダイビングの技術	①	水泳指導技術	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	②	プール・限定水域でのスキン・スクーバ技術	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	③	オープンウォーターでのスキン・スクーバ技術	3.00 h	0.00 h	3.00 h
	④	ボートダイビングでのスキン・スクーバ技術	3.00 h	0.00 h	3.00 h
	⑤	セルフレスキューのスキン・スクーバ技術	3.00 h	0.00 h	3.00 h
	⑥	バディレスキューのスキン・スクーバ技術	3.00 h	0.00 h	3.00 h
	⑦	チームレスキューのスキン・スクーバ技術	3.00 h	0.00 h	3.00 h
	小計			18.00 h	0.00 h
④ 指導と管理法	①	インストラクターの役割	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	②	理論講習のプレゼンテーション	3.00 h	0.00 h	3.00 h
	③	プール・限定水域での指導法	5.00 h	0.00 h	5.00 h
	④	オープンウォーターでの指導法(ボートダイビングを含む)	5.00 h	0.00 h	5.00 h
	⑤	グループ管理法と安全対策 I	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	⑥	ダイビング活動の管理と安全対策	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	⑦	レスキュー指導法	3.00 h	0.00 h	3.00 h
	⑧	操船基本技術の理解とボートダイビング時のダイバー管理方法	3.00 h	0.00 h	3.00 h
	小計			24.00 h	0.00 h
⑤ 安全の確保と 緊急対処	①	緊急事態とレスキュー	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	②	ファーストエイド	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	③	CPR・AED	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	④	緊急酸素	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	⑤	現場の確保と搬送	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	⑥	事故後の対応と報告	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	⑦	危機管理と保険	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	小計			10.00 h	0.00 h
			<b>73.00 h</b>	<b>12.00 h</b>	<b>85.00 h</b>